

北九州市民の会ニュース

2年ぶり 平和のための戦争展 開催へ

**入場
無料**

2021年 平和のための戦争展 第26回

in 北九州

日時 **7月10日** 場所 **黒崎コムシティ**
(八幡西区黒崎/JR黒崎駅隣)

7階 こどもホール

▼ 開会式 13時～

- 開会あいさつ
三輪俊和実行委員長
- 平和のうたごえ

▼ **語** **り** **部**

13時半～

▼ **青** **年** **の**

主 **帳**

15時半～



戦争体験語り70数年
伝えることは使命

平島 節郎さん (93)

平島さんは、地域で機会あるごとに「戦争はいつの間にか抜けられないところまで追い詰められていく」と語り、憲法改悪・軍費増大など、今の状況に警鐘を鳴らす為に、ご自身の戦争体験を語っておられるそうです。



修道女に助けられ生き抜く
八幡大空襲で孤児に

江藤 和子さん (76)

江藤さんは、昭和20年8月8日の八幡大空襲で孤児になりました。幼少期を養護施設で過ごし、成人してからは保母として幼児教育に情熱を注ぎ、現在は新日本婦人の会や戦争展の運動に取り組んでいます。

7階 こどもホール (ホワイエ)

パネル展示 10時～17時



写真は2年前のパネル展示の様子

戦争展は、一人でも多くの市民の方にご覧いただけるよう、入場無料で運営されています。戦争展の成功のためには皆さまのカンパ、賛助募金をお願いいたします。



LINE 公式

※パネル展示は、当初予定していた3階市民ギャラリーが「新型コロナウイルスワクチン接種会場」として使用されるため、パネルなど展示数を限定して7階ホワイエで開催します。ぜひご来場ください。また新型コロナウイルス感染拡大により会場が使用できない場合、「平和のための戦争展」は中止、あるいは延期することがあります。

2021年 第26回 平和のための戦争展 in北九州 〒803-0817 北九州市小倉北区田町13-21 田町ビル3階

Tel: 090-6892-7715(原田)、090-7150-3090(香川) mail: sensoutenkitaq@gmail.com



「改定国民投票法」の採決強行に抗議する人たち＝11日、参院議員会館前



「土地利用規制法案を廃案に」と抗議する人たち＝15日、衆院第2議員会館前

土地規制法案を採決強行

参院委で可決 住民監視 共産・立民が反対

基地周辺や国境離島などの住民を監視する土地利用規制法案の採決が、15日夜の参院内閣委員会で強行され、自民・公明・維新・国民の各党の賛成多数で可決しました。日本共産党、立憲民主党は反対しました。法案は、基地や原発周辺1キロや国境離島を「注視区域」に指定し、利用状況を調査して「機能阻害行為」があれば中止を命令・勧告するもの。従わなければ刑事罰が科されます。特に重要な施設は「特別注視区域」に指定され、不動産取引時に事前届け出を義務付けます。住民や利用者のあらゆる個人情報収集や、土地価格の下落など、憲法で保障されたプライバシー権や財産権の侵害を招く恐れがあります。調査対象や範囲、期間、実施主体などの歯止めがなく、法施行後の政令などに白紙委任しています。(しんぶん赤旗)

改定国民投票法が成立

共産党は反対「改憲策動に終止符を」

改憲手続きに関する改定国民投票法が11日の参院本会議で賛成多数で可決、成立しました。日本共産党は反対しました。

改定案は、2017年以降に安倍晋三前首相が9条に自衛隊を明記する改憲を進めようとする中で、憲法審査会を動かす“呼び水”として提出されたもの。「安倍改憲反対」の世論と運動が広がり、野党は8国会にわたり、自民党の「改憲4項目」の議論に入るのを阻止してきました。ところが、菅義偉首相は改定案の成立を、改憲議論を進める「最初的一步」とのべ、「安倍改憲」を引き継ぐ姿勢を示しています。現行国民投票法は、資金力の多寡に左右される有料広告や、最低投票率の問題、公務員の運動を不当に

制限している問題など、民意を正確に反映する上で根本的な欠陥がありますが、こうした問題は放置されたままです。(しんぶん赤旗)

国会前で緊急抗議

命無視の政権 退陣しかない

国会最終盤を迎え緊迫した15日、衆院第2議員会館前では総がかり行動実行委員会などが緊急抗議を呼びかけ、「国民の命と暮らしを無視する菅政権は退陣しかない」と怒りの声をあげました。

集まった120人(主催者発表)の市民らを前に、あいさつした総がかり行動実行委員会共同代表の小田川義和さんは、東京五輪・パラリンピックの開催ありきでまともなコロナ対策を取らない菅政権を批判し、「これを失政と言わず何というのか。内閣不信任案の否決に抗議します」と訴え。都議選や総選挙へ向けた取り組みを強め、「自民党に代わる政治を、市民と野党で実現しよう」と語りました。

日本体育大学の清水雅彦教授(憲法学)は、改憲への道を開く国民投票法案が成立したことに抗議し、総選挙で政権を代えるしかないと強調。地域ごとに、さまざまな共同が発展していると紹介し、「共同をさらに進め、政治を変えましょう」と述べました。日本共産党、立憲民主党、社民党、参院会派「沖縄の風」の国会議員が参加。共産党の塩川鉄也衆院議員は、どの問題を見ても国民の命と暮らしを軽んじる菅政権は退陣しかないと述べ、「政権交代を実現して政治を根本から変えましょう」と呼びかけました。(しんぶん赤旗)

平和とくらしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F
Tel 093-592-5000 FAX093-571-4346
http://siminnokai.sakura.ne.jp
e-mail:koe@siminnokai.com

